

市民活動だより

【発行】小浜市ボランティア・市民活動交流センター（西津コミュニティセンター内）
開館時間：9:30～16:30 休館日：日曜日、月曜日、祝日、お盆、年末年始
電話/FAX 52-7837 メール volunt-sien@city.obama.lg.jp
小浜市北塩屋22-2 センター出入口：国道162号側（旧西津保育園玄関）

活動団体の紹介

ふくふく笑いクラブ小浜

令和7年度

『福井県県民社会貢献活動功労者 知事表彰』受賞

おめでとうございます!!

『功労者知事表彰』とは、福井県内で県民社会貢献活動のうち、15年以上社会貢献活動を継続し、その顕著な功績が認められた個人または団体に贈られるものです。令和7年度は、個人5名、5団体が表彰されました。小浜市からは、玉井絢子氏とわくわくくらぶが受賞されました。

【玉井絢子氏】

長年にわたり福祉・国際交流・文化活動など幅広い分野で社会貢献活動を継続され、地域社会の発展に大きく寄与されました。積極的な取り組みは、地域に温かさをもたらすだけでなく、文化の継承にも繋がるものとして高く評価されました。

【特定非営利活動法人わくわくくらぶ】

乳幼児・児童を対象に子育て支援事業を展開されています。家族の希望に寄り添いながら、多様な保育ニーズに柔軟かつきめ細やかに対応されています。子どもたちに愛情をもって接し、安全で温かい環境の中で健全育成を継続されており、その地域社会への貢献が顕著であることが評価されました。



令和8年3月17日（火）福井県庁にて
左：玉井氏、中：石田知事、右：わくわくくらぶ代表

「小浜市ボランティア・市民活動交流センター登録団体連絡会」開催

2月13日（金）、西津コミュニティセンター1階ホールにおいて、「小浜市ボランティア登録団体連絡会」を開催しました。

WACおばま・鳥居理事長の進行のもと、各団体より「令和7年度活動報告」と「令和8年度活動計画」について発表をいただきました。

登録団体が年に一度集まる貴重な機会となり、情報共有や意見交換が活発に行われ、有意義な会議となりました。



「笑いヨガ」は、1995年にインドで考案され、笑いながら体を動かすことで心身を健康に導く、楽しく効果の高い健康法として世界中120か国以上に広まっています。

県内では、2014年に「ふくふく笑いクラブ」として発足しましたが、小浜市内での普及は難しく、一時活動を休止していました。2019年、「笑いが健康に良い」という認識が広まったことを受け、「ふくふく笑いクラブ小浜」は、活動を再開しました。



私たち「ふくふく笑いクラブ小浜」は、小浜市の助成を受け、2023年にリーダー養成講座を開催し、11名の笑いヨガ講師が誕生しました。翌2024年には、高齢者向けの笑いヨガテキスト『ふくふく体操』を作成しました。「笑って暮らすまちづくり」を目標に掲げ、高齢化が進む小浜市において、笑いヨガが高齢者の外出や交流のきっかけとなり、元気に過ごしていただけるよう活動しています。

テキストでは、「高齢者」を「幸齢者」と表現し、笑顔あふれる魅力的なまちづくりを呼びかけています。



現在の会員数は18名。旭座楽屋での月1回の「体験会」のほか、市内のサロンやコミュニティセンター等からの依頼を受け、出前講座で『笑い』を届けています。

童謡をうたう会「赤いくつ」



10月18日(土)

「アクール祭」出演

「アクール若狭」から依頼を受け、会員18名が「アクール祭」に参加しました。はじめに「夢の世界」「花は咲く」を合唱し、その後、入所者の皆さんと一緒に「どんぐりころころ」「もみじ」「上を向いて歩こう」など懐かしい童謡8曲を歌いました。

歌を通じて交流が生まれ、入所者の皆さんに喜んでいただき、私達にとっても心温まる時間となりました。

オレンジピール Orange peel



10月12日(日)

「御食国まち歩きマルシェ」

参加3年目となる今年も、布小物を中心に手提げ袋、ポーチ、メガネケース、袱紗など手作り品を販売しました。

普段とは異なる会場での出展やお客さんとの会話は、今後の活動の励みとなっています。これからも手作りの楽しさを伝えていきたいと思ひます。

ほうそくせきすずり 宮川産鳳足石硯 研究会



9月24日(水)

「神宮寺・龍泉寺の硯」拝観

2023年に小浜市指定文化財に登録された「神宮寺」と「龍泉寺」の鳳足石硯(ほうそくせきすずり)を拝観する研修会を開催しました。参加者24名が神宮寺に集合し、山河住職の話を伺った後、若狭歴史博物館に寄託されている龍泉寺の硯(武田氏時代)を拝観しました。今回、初めて女性の参加もあり、立派な硯に大変感激されていました。

小浜病院園芸ボランティアすみれの会

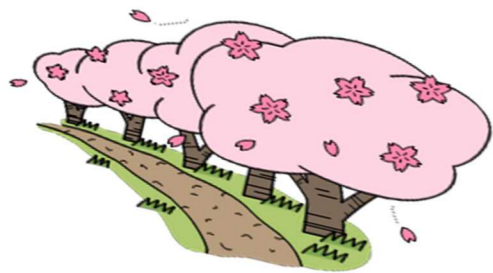


11月4日(火)

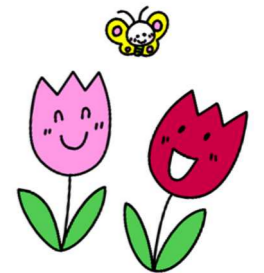
小浜病院東館沿道パンジー苗植え

小浜病院東館沿道花壇に、夏のペゴニア苗を掘りあげ、春に向けてパンジー苗とチューリップの球根を植えました。通りかかった方から、「いつもきれいに咲いている花を楽しませてもらっています」と声をかけられ、励みになりました。

これからも市民の皆さんに楽しんでいただけるよう、会員と協力して育てていきます。



市民活動団体の活動を紹介します



特定非営利活動法人 わくわくくらぶ



食育につながる活動

6月には1・2歳児クラスで梅ジュース作りを行いました。洗う工程からすべて子どもたちが取り組み、ジュースができあがる様子をわくわく楽しみにしながら、夏に美味しく味わいました。2歳児クラスでは、春野菜の苗植えを行い、秋に収穫したピーマンでクッキングをし、みんなで味わいました。

小浜市郷土史研究会



11月20日(木)

「豊岡市出石町内」研修会

映画「国宝」のロケ地となった豊岡市出石町の「出石永楽館」^{えいらくかん}、出石藩の城下町としての面影が残る「出石城跡地」^{しんころろ}や「辰鼓楼」を見学しました。県外の歴史や文化に触れ、理解を深める貴重な機会となりました。

認知症の人と家族の会



2月21日(土)

「思いきりみんなで話そう」のつどい

「聞いてほしい、聞かせてほしい、仲間がほしい」これは、認知症のご本人とご家族の切実な声です。この声に応えるため、年間4回「つどい」を開催しています。県民生協ハーツわかさでのつどいでは、「体験談を聞いて心が軽くなった」「介護は永久に続くものではない。頑張ろうと思えた」などの感想が寄せられました。最後には、スタッフの指導で体をほぐす体操を全員で行いました。

若狭小浜歴史研究会



11月22日(土)

「創立5周年記念 講演会」

小浜市働く婦人の家(咲楽館)にて、小浜市および若狭国の歴史をテーマとした講演会を開催しました。

代表の福本徹之氏(歴史研究者)は「鎌倉・室町時代初期の若狭国」、野村芳弘氏(会員)は「山口嘉七翁の功績」、吉村定信氏(会員)は「放生祭について」と題して講演し、研究資料をもとに歴史愛好家の皆さんに解説しました。